

大業たり
四中
学校たより

磨き合う

8月

月
11日
金

返信
ありがとう
ございました!

配布物
とわたりいみか
調査
の結果は!?

前回学校からの
配布物が届いていた
といふことだつたので、
おまけただけでも返信を

お願いします。と協力をお呼びかけました。そしてその結果は、返信率20%でした。まあ。

忙しくて返す時間もなかった、という所もあるかも知れませんが、学校からのお知らせを保護者の方が
把握されないことが多いのかな...と改めて感じました。何か改善策がないか検討しなければいけませんね...。

娘が配布物を「見てね」と提出しても親が見るのを忘れてしまう時があり、色々な配布物に紛れてしまうので、娘が私たちに見てもらえるよう工夫し、クリアファイルに入れて〇〇の提出物、と書き新しいのを上に重ねていってくれます(笑)おかげで確認しやすいです。

この方法だと
子どもの生まり次第が
ちがっても、確認
ができないのです。
プリントボックスでも
いいですね。

そうですね。同じ環境で
同じように育てたつもりなのに、
私の娘も三種の性格
です。子育てで難しくて
育てているよって私自身が
育てられを感じています。

校長先生のお手紙いつも楽しみに読ませてもらっています。もちろん西尾先生のクラス便りも楽しみで、いつも読ませてもらっています。西尾先生のお便りは写真があるので親としては嬉しい楽しみです。我が家は、手紙や大事なプリントなどはココに取出して場所を決めていて、子どもも父親も母親もみんなが読んでいます。みがきあうは我が家にとって大切なメッセージばかりです。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

写真はとてもいいですね!! ひと目みたからよさ
がいいです。一時期Youtubeがはやった時、これを
教材にいかない手はない。と13(13集めた時)
ありました。以前ラジオのCMを紹介しましたが、
右のCMもみてみてください。タイの保険会社のもの、
いくつあるのですが、3つまとめたやつがあるんでどうぞ。

磨き合う 毎回楽しみに読ませて頂いております。そして、配布物は毎回全て受け取っています。今回の通信、とても共感しました。私も、この替え歌のような子に育ってほしく無いと日々奮闘している次第です。個人的な考えですが、子どもが1人で生きていけるようにするのが親の仕事だと思っています。なので甘やかすことは嫌いですし、自分のことは自分で。そして、いろんな体験・経験をさせいろんなアイテムを身に付けていって欲しいです。読んでいて思いましたが、今の親は楽をしたいんじゃないかなと。もちろん私もですが。みんな仕事もして子育てもして家事もして。そんなバタバタの日々、携帯を与えておけば楽だしYouTubeを見せていれば楽だし。教えたりするのも、文句を言わせて口喧嘩になるのも面倒だから何でもかんでもしてあげて。お金さえ出せば、学童や習い事に行って乐だ、以前見かけた子育て論が衝撃で記憶に残っています。それは、子どもへの投資についてでした。稼いだお金をかけて塾に行かせる、習い事をたくさんさせる、それも悪くはないが、それよりも今しかない子どもという時期に、仕事をセーブして子どもの為に時間を割いていろんな時間を共有する、収入が減ってでもその時間を作ることこそが子どもへの最高の投資だと。1人の子どもがどう成長してどんな人間になるのかは親次第で、そしてその子育ての結果はその子の現状が全て表しているという話も聞きました。こうなったらもう、腹を括って本気で子育てやらないといけないなって、仕事は好きですが今は半分諦めています。

子どもと触れあう時間は人生80年のうち
が18年くらいです。つまり子どもの人生の20%
です。この短い時間を大切にしたいです。

私が以前聞いた話で、「子どもはよくケガをね。そしてその分治る力も強く、早く治る。それはたくさんのケガをして、痛みや危険を経験して強くなるためだ」とありました。本当にそうだと思います。小さい時に嫌と思いつらい思いをした人は他人にやれ、大人になってくる気がします。車云はぬ先の杖を与える』…深い諒です。

自力登校の件です。長女はコロナ禍で分散登校がきっかけで送迎が増えました。夏の暑い時間帯に登校するのは、で時間がある時は協力。その後、体育祭の応援団練習や受験の学習会で遅くなるからとほとんどが送迎。高校に上がつても自然と送迎になつてました。甘やかせてるな、と思いつつもしてやれることは、と葛藤の日々。当たり前の習慣になつてましたが、高校を卒業し遠方に居ます。何でも自分でしなければいけない状況で親に感謝してると言つてました。思いきって出して良かったなと思ってます。次女もそんな日が来ることを願つて協力していきたいと思います。

うらやましいですね。うちも
感謝してくれてるのでしょうか?
どう育てたらそのじが育て
くれるのでしょうか?

道徳とかで使つ
ましたか? 見たけれども
何を感じたと思います?



←一本目の話は
空話をもじにした
話です。

いつも「磨き合う」楽しみに読ませていただいております。こんな現代っ子に、私たち親がしてしまったんでしょうね。雨が降れば、「使って行こうか?」「雨で濡れるけん、替えの靴下持つ?」…と、子どもに言つてますね。子どもが困らないようにと、先読みしてこうしたらいいよと言つてしまつています。以前、上の子どもが小さい時に行った病院の先生に、「子どもに、転ばぬ先の杖を与えないこと」と言われた言葉がずっと頭の隅っこにあって…。でもその時は、子どものきついのを病院にきてどうにかして治してもらおうと思ってるのにと、その言葉を受け止めきれなくて…、という事がありました。子どもを育てるのは、本当に大変ですね。

いつも校長先生の学校より楽しみにしています。うちちは私が楽しみにしているせいしかしりきちゃんと渡してくれます。私が読んで子供と一緒に考えたり、話のネタになつたりと、子供とのコミュニケーションになっています。今の子供には子供の考え方や思いがあることを知ることが出来る、私にとって子育ての知識と子供と向き合うことの大切さを知る機会になっています。校長先生の味のある字で書かれた学校だよりは長いこと4中にお世話になっていますが初めてです。これからも楽しみにしています。

ありがとうございます。私自身が
子どもとの会話を少しあがめ
て、この通信がきっかけになつた
うれしいです。
よろしくおねがいします。

返信用
QR
←このたよりが、親の返信で交流できる場になつて、もううれしいです。(13人を悩みでもOKです)

